

「地域DX推進に向けた宮城・東北 県・市 町村連携フォーラム」事前アンケート 集計結果

2024/09/12

1.基本情報

Q1 貴市町村について伺います。

■市町村名

n=25

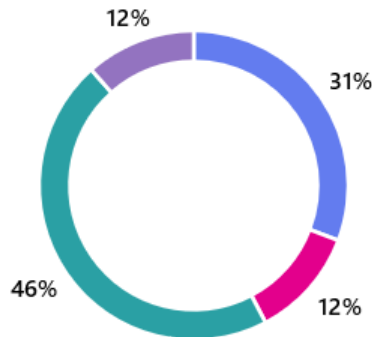
仙台市	角田市	大崎市	亘理町	大衡村
石巻市	多賀城市	富谷市	七ヶ浜町	涌谷町
塩竈市	岩沼市	蔵王町	利府町	美里町
気仙沼市	栗原市	村田町	大和町	女川町
白石市	東松島市	川崎町	大郷町	南三陸町

2. 外部専門人材の確保・活用状況について

Q2 外部専門人材を活用していますか。

n=25

● 日常的に活用している（自前で外部専門人材を確保）	8
● 国・県等のアドバイザー（機会限定の助言）を活用している（したことがある）	3
● （ほぼ）確保・活用していない	12
● その他	3



■「その他」の回答

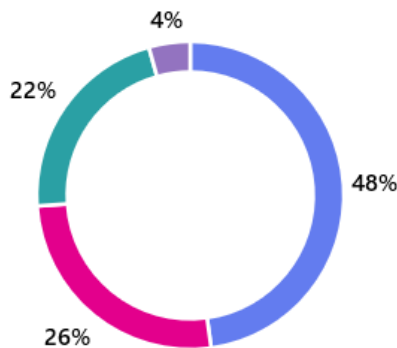
- 自前でDX推進アドバイザーを選任（令和6年度から令和7年度まで）し、予算の範囲内で助言等いただいている。
- 民間企業より専門人材の派遣を受け、日常的に活用している。
- 連携協定先であるNTT東日本より週1日程度、DX推進アドバイザーとして出向していただいている。

Q3 どのような業務内容に活用していますか。

※Q2において「活用している」に該当する場合のみ回答

n=13

● D X 推進の機運醸成、計画策定、全体コーディネート等に活用	11
● 特定のプロジェクトに活用（庁内 D X、標準化対応、地域社会 D X 等）	6
● 実務のサポートに活用（入札・契約関係、システム保守管理等）	5
● その他	1



■「その他」の回答

- 民間企業より派遣を受けている専門人材は、デジタル技術の導入及び利活用支援、行政のデジタル化推進に係る企画及び支援、その他情報システム等に関する業務に従事している。;

2. 外部専門人材の確保・活用状況について

Q4 活用によって具体的に助かった点があれば教えてください。

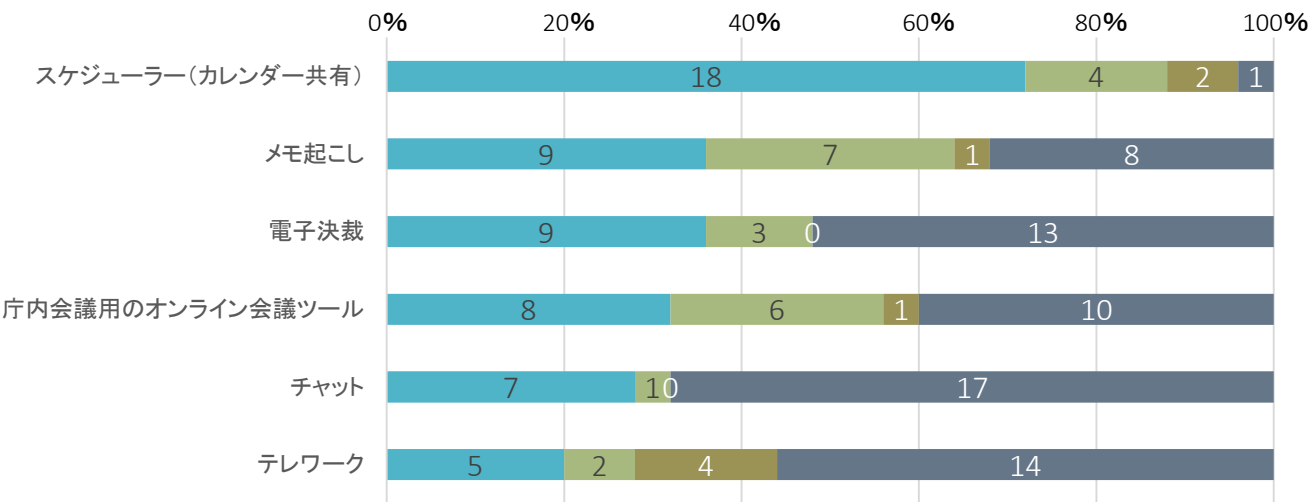
※Q2において「活用している」に該当する場合のみ回答

n=9

分類		回答
庁内業務	気運醸成、意識向上	幹部職員との意見交換等によりDX推進の機運醸成が図られた。
		庁内におけるDX推進に対する気運成就
	助言、技術的支援	外部の専門的知識や豊富な経験を活かし、庁内の業務の見直しやDX化の促進に大きく貢献していただいた。外部人材なしには、今までの取組は出来なかったと感じています。
		・SNSガイドライン策定内容への助言や、活用に関する講演会で講師をしていただき、SNSを活用していくよう職員の意識向上を図ることができた。
		・オープンデータ化に関する助言をいただき、取組の手がかりとなった。
		ICTについての施策面での助言及び、技術的支援をいただいている。また、庁内全体でセキュリティ対策の向上を図るための効率的な運営を行っている。
		・庁内各部署の課題解決の相談について、DXを活用した解決策を提案してもらえる。
		・標準化対応に関してアドバイスを受けられる。
		民間企業より派遣を受けている専門人材には、BPR伴走支援を行う組織に助言等をもらい、多数の支援実績が挙がっている。
	研修	・特定のツール（サービス）の利用率向上
		・計画策定に助言いただいた
		DXツール導入の際の助言をいただける
ベンダー対応		研修等によるDX化の職員周知やBPR実施による業務改善が促進された。
		職員を対象としたDX、BPR研修の実施
		展示会へ同行してもらうことで、ベンダーへ踏み込んだ聞き取りが可能となる上、庁内の実情と照らし合わせて導入の検討をしてもらうことができる。
		ベンダーからの説明で理解できない内容をより理解できる点や詳細説明を求める必要がある部分が理解できる点

3. 庁内DXの取組状況

庁内DXの取組状況



■ 多数の部署にて積極的に活用している ■ 一部の部署にて活用している ■ 導入はしたが活用低迷 ■ 未導入

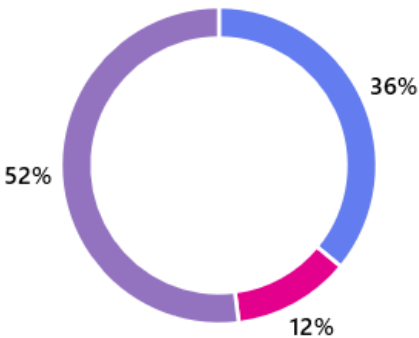
3. 庁内DXの取組状況

Q5 庁内DXの取組状況について教えてください。

① 電子決裁

n=25

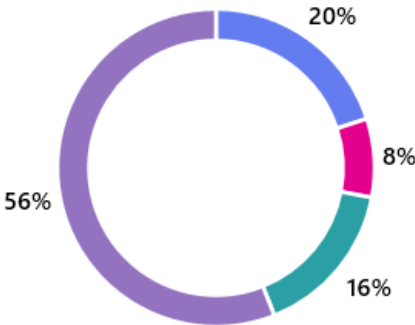
● 多数の部署にてor 積極的に、活用している	9
● 一部の部署にて活用している	3
● 導入はしたが活用低迷	0
● 未導入	13



②ー1 テレワーク

n=25

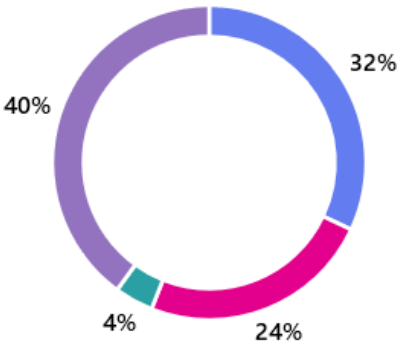
● 実施困難な課室（窓口等）を除き、多数の部署にてor 積極的に、活用している	5
● 一部の部署にて活用している	2
● 導入はしたが活用低迷	4
● 未導入	14



②ー2 庁内会議用のオンライン会議ツール

n=25

● 多数の部署にてor 積極的に、活用している	8
● 一部の部署にて活用している	6
● 導入はしたが活用低迷	1
● 未導入	10



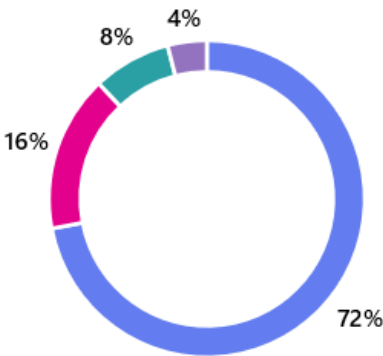
3. 庁内DXの取組状況

Q5 庁内DXの取組状況について教えてください。

②ー3 スケジューラー(カレンダー共有)

n=25

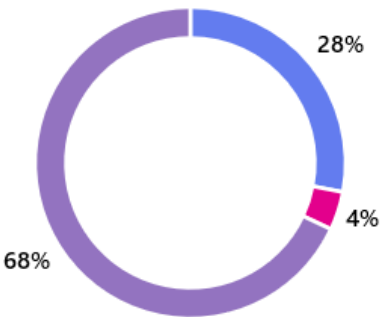
● 多数の部署にてor 積極的に、活用している	18
● 一部の部署にて活用している	4
● 導入はしたが活用低迷	2
● 未導入	1



③ チャット

n=25

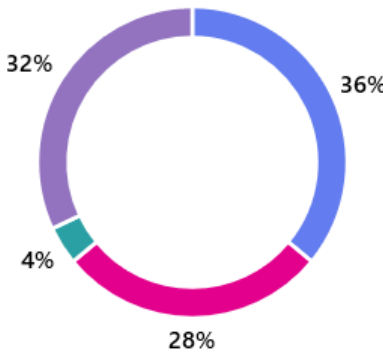
● 多数の部署にてor 積極的に、活用している	7
● 一部の部署にて活用している	1
● 導入はしたが活用低迷	0
● 未導入	17



④ メモ起こし

n=25

● 多数の部署にてor 積極的に、活用している	9
● 一部の部署にて活用している	7
● 導入はしたが活用低迷	1
● 未導入	8



3. 庁内DXの取組状況

Q6 庁内DXに向けて、BPRに力を入れた(入れている)分野があれば教えてください。

n=14

分類		回答
電子決裁、 フロントヤード改革 など		今年度下半期にて、フロントヤード改革分野で取組予定
		「書かない窓口」、「オンライン申請」や職員の働き方改革として「AI-OCR」、「BPR」等に力を入れていきたい。
		全庁的に課題を洗い出し、ヒアリングを実施。改善可能な業務について、一部業務改善も行えた。 ヒアリングにて押印廃止の声があがり、電子決済導入の際に押印についても廃止した。
		電子決済、書かない窓口に力を入れた。
		・公会計システムと文書管理システムの電子決裁を導入し、ペーパーレス化を図った。 ・オンライン申請、オンライン決済の導入、拡充に取り組んでいる。
		フロントヤード改革を実施。
		文書管理や財務会計事務における電子決裁、フロントヤード改革。
		フロントヤード改革(書かない窓口、キャッシュレス化)
ツール	ノーコードツール	各種照会回答にノーコードツールを活用し、集計・分析までの省力化を図っている。
	チャット	自治体間チャットツールのフル活用によるペーパーレス化及び業務効率化の実現。
	Microsoft 365	M365を導入した(予定)。
その他		公式LINEアカウントを活用したプラットフォームの構築により、多くの電子申請やサービスを一元化。
		窓口業務の民間委託窓口DXSaaSを併せて推進すべく今後取り組みを開始する。
		・庁内に共通する支出関連事務(執行何を起票してから支払を行うまでの一連の事務)に対し、委託による業務分析を実施。 ・受付件数上位100手続のオンライン化(仙台市DX推進計画2024-2026に掲載)の実施と合わせて、手続きごとに一連の作業をBPRできるよう専任部署で伴走支援を実施。
		デジタル庁の窓口BPRアドバイザー事業を活用し、窓口部門のBPRに取り組んでおります。

4. デジタル関係業務における実務上の課題

Q7 デジタル関係業務の担当者として、特に実務面の具体的作業等でご苦労されていることがあれば教えてください。

n=20

分類		回答
庁内体制	意識醸成	標準化対応の業務担当者は、積極的にDX推進に取り組むが、その他の職員は、余計な業務と捉えるケースが多く、DX推進が進めづらい状況にある。
		「デジタル」に対する担当課の受け身の姿勢や、関係する複数課の調整に苦慮
		現場（窓口担当課、福祉担当課等）職員のDX推進に対する重い腰。
		業務担当課の意識の醸成
	人員不足、人材不足	デジタルに明るい職員が庁内でも限られているため、特定の職員に負担が偏るなどの苦労がある。
		職員個人でも、目の前にある業務に忙殺されて、BPRのような取組ができないケースも多い。
		業務担当者が少人数かつ他業務との兼任が多く、全体的にマンパワーが不足している。
		マンパワー不足により、システムに不具合が生じた場合の対応が遅れる。
		デジタル人材の育成が必用
	関係課室との調整	関係課室との調整が困難、ベンダーに任せきりになってしまう。
		人によりDX促進の理解に差があり、前向きな部署とそうではない部署でDXの促進度合いに差が出ている。
		関係課室との調整が困難、DXが関係すると所管がすべてDX部門になってしまう。
		DX推進にあたっての関係各課との調整が困難。
		関係課との調整が困難（デジタル化への不安、温度差）、各種システムごとに契約・保守事業者が異なるため障害時の切り分けや対応が困難。
	費用対効果の算出、説明	庁内での費用対効果の説明が難しい。すべてにおいて費用対効果を聞かれ、新たなサービスの導入は、目に見える効果が顕著にあるものでないとなかなか承認を得ることができない。
		専門的な知識がなくベンダーからの見積額が妥当な金額かを確認できない
		歩掛が無いためベンダーからの見積書の妥当性を判断する方法が分からない。
		費用対効果の算出が必要である。住民から真に求められているか検証が困難である。
		特に導入当初はデジタルとアナログの事務フロー二重化により、システムコストだけでなく、事務コストが向上するため、費用対効果の点から財政当局に難色を示されることが多い。国において導入初期の事務フローについて、補助金や特別交付税などの財政措置をいただいただけだと円滑に導入が進むかと思う。
		費用が高額で予算化できない（補助金等が少ない）
専門的知識	仕様書、手順書	手順書等を読み込むのが大変、仕様書の作成が面倒。
		手順書等の読込や仕様書の作成等全般に、専門用語を調べることから取り組むため時間がかかり大変。
		手順書等を読み込むのが大変
		手順書を読み込むのが大変、専門的な知識がなく仕様書の作成が困難
		仕様書の作成が面倒
		仕様書、設計書の作成及び見積書の精査等専門的知識が必要である。
		システム関係の仕様書の作成にあたって、必要な要件が網羅されているのが不安。
	ツール、システム	ノーコード・ローコードツールといえど、コードを使う開発・保守は素人ではままたらない。
		・類似する様々なデジタルツールの選択に時間を要する ・導入したデジタルツールの貸出管理の煩雑化
		導入した各種サービスの使い方を、他課の職員がサービスを利用する際に支援が可能なレベルまで身に付けるのが困難。
標準化	標準化に伴うガバメントクラウド接続関連	
	標準化に係る資料が国より提供されるが、内容量や専門用語が多いことから理解することが難しい。	
その他	・専門的な知識が欠けており、ベンダーに任せきりになっている。 ・国やJ-ilisから発出される資料が多く、知りたい情報に行き着くまでに時間がかかる。	
	クラウドサービスに町の契約書ひな形が対応できていない。（相手方の利用規約だけでは不安）	
	ベンダーとの各種調整に時間と労力を要する。	
	ベンダーに任せきりになってしまう。	
	庁内インフラ保守対応（職員端末など）	
	端末・情報システム機器の更新業務	